

議会だより



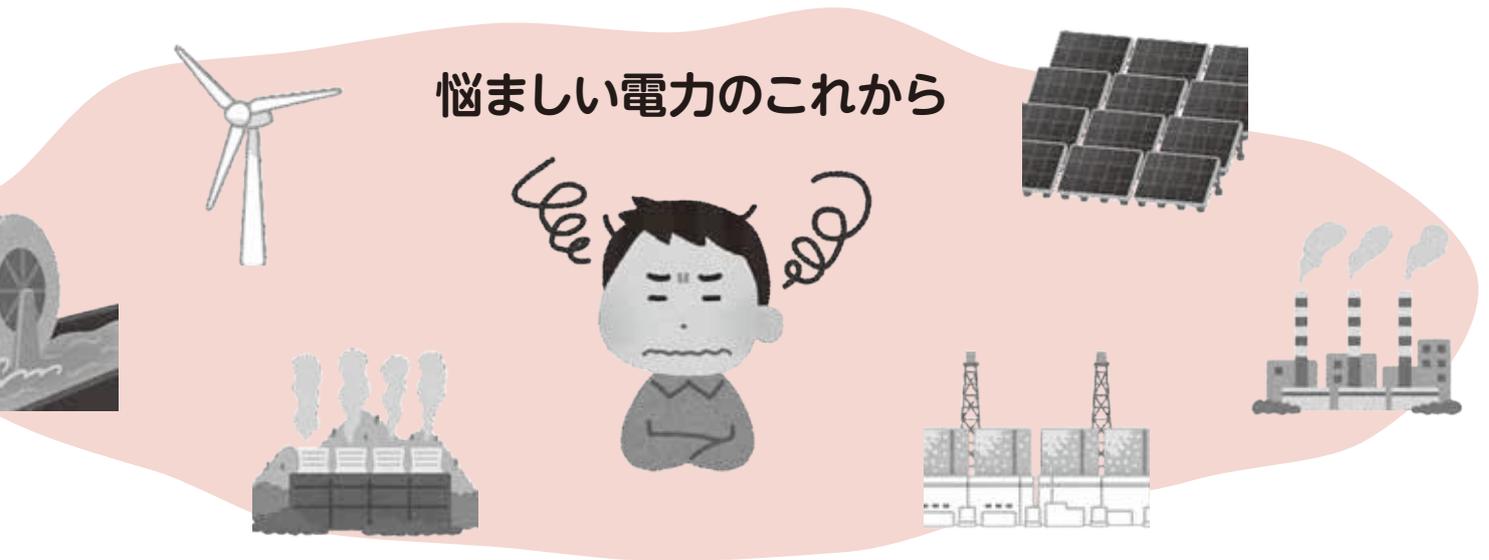
12月定例会

電力の未来 あなたはどう思う (洋上風力発電特別委員会を設置)……………	P. 2
令和3年度補正予算……………	P. 4
町政を問う 一般質問……………	P. 6
よりよい暮らしの実現をめざし(政策提言) ……	P.12
議案内容と採決の結果……………	P.15
町民と議会の懇談会……………	P.16
シリーズ遊佐人⑧(高瀬小学校)……………	P.19
議会クイズ・編集室より……………	P.20

すぎのこ
PTA幼年消防団
関連記事 P.20

あなたは 電力の未来どう思う

脱炭素化の抑止に向け、ゼロカーボンで持続可能とされる風力発電、とりわけ「洋上風力発電」が注目されています。9月、政府は洋上風力発電の、より具体的な検討を進めるため、遊佐町沖を「有望な区域」に位置付けました。この事業計画では、高さ300m前後の巨大な風車まで海岸からわずか1kmと生活圏にかなり近いことや、地下水脈や騒音など影響が不明など、解決すべき課題は山積しています。しかし電気は必要です。このままでは、どのように判断すべきでしょうか。



悩ましい電力のこれから

洋上風力発電にさまざまな意見

進み具合は

今年から県主導で本格的な検討が開始され、参入希望者による環境アセスメント調査も並行して実施されています。令和4年1月には再エネ海域利用促進法に基づく「法」が設置される見込みで、準備が加速しています。早ければ5年後に建設工事が始まり、8年後には運送される可能性があります。

意見が多数

中には固定資産税増の期待などから、計画に賛成の意見もあります。一方、現時点では進め方や景観、地下水脈への影響など多岐にわたり、慎重な意見が多数です。参入希望事業者は、これらの意見等に対し基本的に「お聞き」姿勢にとどまり、私たち町民の声は計画に反映されていない状況です。

議会 特別委員会を設置

説明会を開催

平成30年以降毎年、県による住民説明会が開催されています。年々参加者が増え、さまざまな見地からの疑問や心配が出されています。

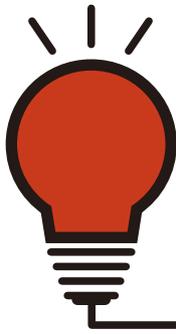
発電希望事業者による説明会も開かれており、その場でも多くの意見が示されています。

議会では

令和2年12月定例会で「遊佐町沖洋上風力発電事業計画に関し特段の配慮等を求める意見書」を知事へ送付しています。3年の町民と議会との懇談会では、多くの発言をいただきました。【17ページに関連記事】

これらを踏まえ、3年12月の定例会で「遊佐町沖洋上風力発電事業計画に関する調査等特別委員会」を設置しました。

特別委員会のあり方や洋上風力発電に関し、町民の皆さまから幅広くご意見をお聞かせください。

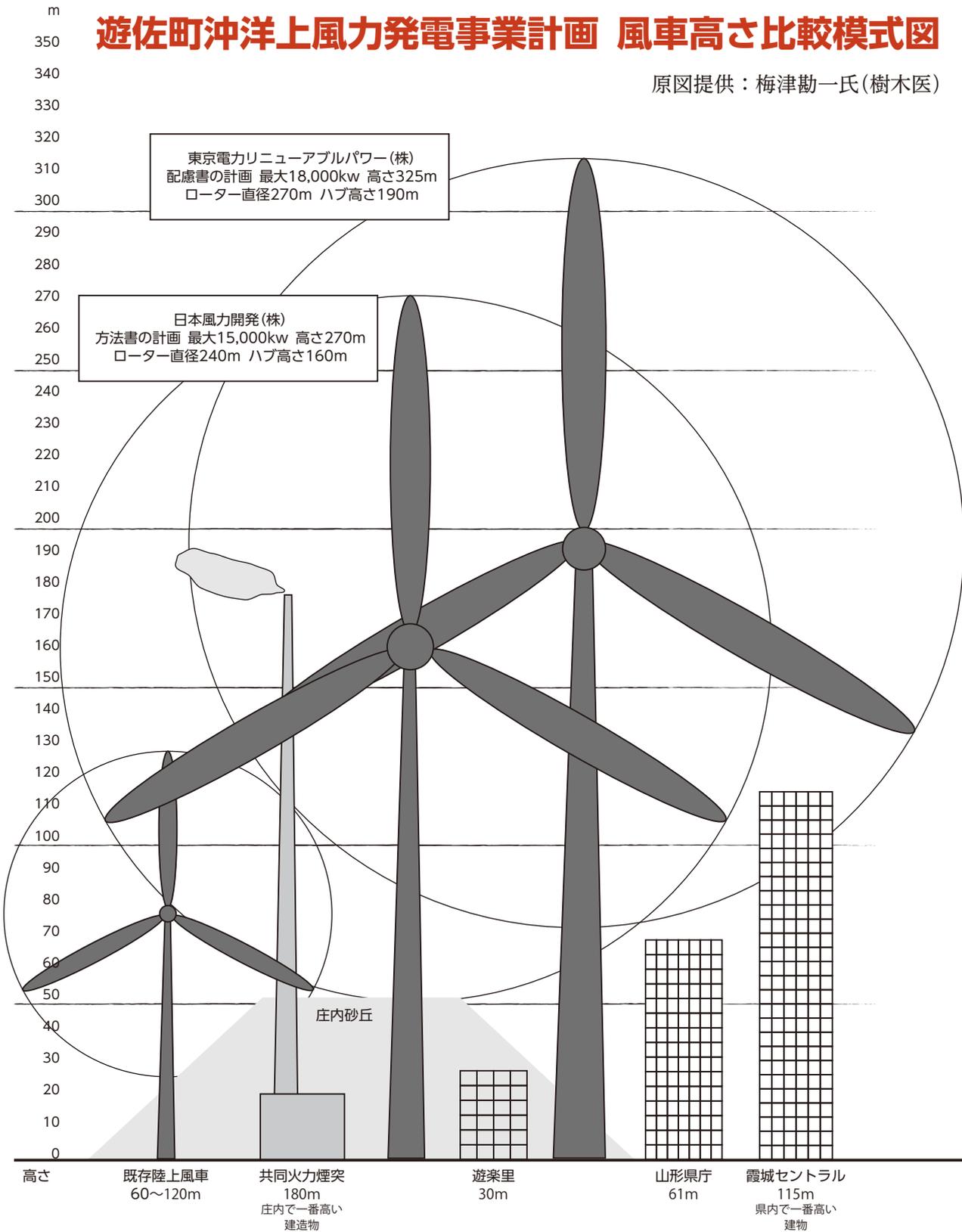


地球温暖化
令和3年
現時点の
サケに及ぼ
遊佐町は



遊佐町沖洋上風力発電事業計画 風車高さ比較模式図

原図提供：梅津勘一氏(樹木医)



計画の進捗

平成30年度から令和3年度にかけて、希望事業者の公募が行われます。令和3年度に予定協議会が設立され、今後、早期に事業転が開始される予定です。

巨大な風車

これまで明らかになった計画上の風車の大きさです。遊楽里が小さく見えます。これはあくまでも海面上の大きさなので、海面下まで含むとかなりの規模の構造物です。このような風車が西浜海水浴場以南の遊佐町沖だけで、40~60基前後建設される計画です。

発電方法には「再生可能エネルギー」によるものであっても、それぞれ一長一短があります。基本的には使用電力量に合わせて発電がされます。

東日本大震災から間もなく11年になりますが、私たちの生活スタイルを改めて見直す必要もあるのではないのでしょうか。

慎重意見

説明会や意見募集、サケへの影響など、慎重な意見もあ

県や参事会など、「ご意見を伺い、ほとんど反

3年度 補正予算質疑



委員長 那須 正幸
副委員長 菅原 和幸

補正予算審査特別委員会 12月10日

コロナワクチン3回目接種の準備を整えるとともに、米価下落対応策、PAT周辺町道整備や価格高騰に伴う福祉灯油助成など1億3600万円を増額し、予算総額102億3100万円に。

- ワクチン接種体制整備 620万円
- 福祉灯油助成金 474万円
- 町道新設用地取得 3200万円
- 升川地内側溝整備 650万円
- 松くい虫防除 2100万円
- 防災備蓄資材整備 1041万円

補正予算審査
一般質問
政策提言
請願審査
懇談会報告
遊佐 人

総務課

基金を活用しないのか

問 観光施設の修繕に、観光施設整備の基金を、なぜ活用しないのか。
(本間 知広 委員)

答 基金は、実施計画に基づく活用が基本だが、緊急時の財源としても想定される。今回は一般財源で対応が可能だった。

災害時トイレは重要課題

問 防災備蓄で使い捨てトイレ1000個を購入予定。全体計画は。
(齋藤 武 委員)

答 既に6地区の倉庫には700個ずつ(計4200個)配備している。今後は町民の意見を参考に、追加配備を検討したい。

防犯灯の修繕箇所

問 日没が早くなるこの時期、下校時の安全対策のために早期の修繕を。
(赤塚 英一 委員)

健康福祉課

福祉灯油購入緊急助成

問 現金による給付及び給付の上積みが必要ではないか。
(佐藤 光保 委員)

答 金額は、県の基準に合わせている。現金給付は他自治体の状況を見ながら検討したい。

重粒子線治療への補助内容は

問 高額治療となる重粒子線治療への補助の内容は。
(赤塚 英一 委員)

答 高額医療費の患者負担軽減のため、治療費の一部とローンの利子分を、県と町が助成する。
※重粒子線治療：炭素イオンを超高速度がん細胞に照射する治療法。令和3年から山形大学医学部で開始。

健康福祉課

実情に合うのか 雪かき応援

問 ※「雪かき応援事業」の要綱は、どのように改正されるのか。
(齋藤 武 委員)

答 奨励金の上限を1万円から1万5千円にし、協力者を少しでも増やしていきたい。
※雪かき応援事業：高齢者や障がいを持つ方々の住居の出入り口から公道まで除雪の支援ボランティア。

山形県出産支援給付金

問 県10分の10の補助金だが内容はどのようなのか。
(本間 知広 委員)

答 コロナ禍での出産、育児支援として、国保分に上乗せして1回の出産につき5万8千円を支給。



産業課

漁業従事者の増に期待

問 県が半額補助する「漁業従業者確保・育成支援対策事業」の内容は。

(菅原 和幸 委員)

答 水産業の新規就業者、年20名をめざし、研修や独立の初期投資資金を住居費含め支援。

松林の荒廃

問 ボランテニア作業の松林は下枝が枯れていた。他地区の調査と対応は。

(阿部 満吉 委員)

答 被害木調査の結果を基に、作業箇所を選定しながら今後もボランテニアによる下刈り作業をお願いしていきたい。

デマンドタフシー委託料増は

問 燃料高騰で委託料が増額。契約内容に問題はないのか。

(高橋 冠治 委員)

答 これまでは燃料費も委託契約に含めていた。燃料費は変動するため、今後は見直しを検討する。

危機迫る豚熱

問 イノシシが豚熱に感染。ワクチン接種は有効であるが根本的対応は。

(高橋 冠治 委員)

答 治療法はなく、防疫対策徹底が基本。引き続きワクチン接種、野生動物の侵入防止柵等の整備を支援する。



地域生活課

工事の緊急性は

問 側溝整備工事の内容は。また、補正予算とする背景は。

(菅原 和幸 委員)

答 升川集落内の水路を整備する。水路脇が陥没し危険なため、緊急性を要する工事である。

町道の用地取得費は適正か

問 道の駅への町道予定地の取得費が高額ではないのか。

(斎藤弥志夫 委員)

答 事前に不動産鑑定により算出した評価額を参考に、予算額を計上した。



水路を整備 (升川地内)

町民課

申告の窓口対応は改善されるのか

問 申告のデータ入力的外部委託の廃止、町民のためになるのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 窓口・電話対応の体制を充実させるため、新規雇用の※会計年度任用職員で対応する。

※会計年度任用職員：地方公務員法の改正により、令和2年度から設けられた制度。一会計年度内で雇用される任期付きの職員。これまでの臨時職員。

マイナンバーカードの活用は

問 コンビニで各種申請ができる時期は。

(佐藤俊太郎 委員)

答 コンビニでの証明書等交付は、来年度の導入に向け協議中。

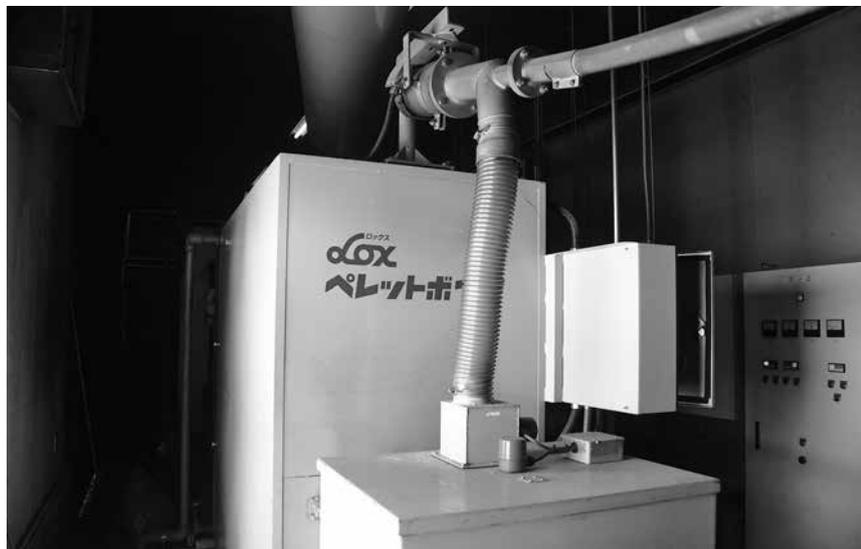
企画課

環境に配慮した交換設計を

問 しらい自然館のボイラーは、ペレット式からなぜ灯油式に交換か。

(赤塚 英一 委員)

答 改修費、その後の維持管理を検討した結果の設計である。



一般質問

町の事業と課題を問う

11議員登壇

12月7日・8日

一般質問通告の要旨（通告順）

※誌面の都合上、掲載できなかった質問は議会ホームページの議会録画をご覧ください。

菅原 和幸議員 …… P 6

月光川水害予防事業の今後は

赤塚 英一議員 …… P 7

小学校統合に伴う
学校外の安全対策は

松永 裕美議員 …… P 7

ヤングケアラーの現状と対策は

本間 知広議員 …… P 8

遊佐町定住促進計画
現状と今後は

佐藤 光保議員 …… P 8

ひきこもりへの支援は

那須 正幸議員 …… P 9

空き校舎利用と管理計画は

齋藤弥志夫議員 …… P 9

次回は50%プレミアム付商品券

高橋 冠治議員 …… P 10

「ユネスコ世界ジオパーク」を
目指す意義は

佐藤俊太郎議員 …… P 10

看護師奨学金貸付等の現状は

阿部 満吉議員 …… P 11

洋上風力発電
町は説明不足

齋藤 武議員 …… P 11

洋上風力発電事業
町長は行動すべき

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

月光川水害予防事業の今後は



菅原 和幸 議員

町長

これからは町で管理

問 140年の歴史を持つ月光川水害予防組合が、解散するとの説明があった。解散後の河川管理は、どう調整していくのか。

答 浚渫や支障木の撤去は県に要望している。水防区域と草刈りは、町が引き継ぐことで調整している。

問 粉砕機の導入を。

答 粉砕機の導入は町のみならず、広域的に使用可能なため、県に有効性を情報提供したい。

これも質問

問 「きらきら遊佐マイタウン事業」を集落公民館改修に使いやすく。
答 緊急の修理にも対応できるように、運用を見直します。

問 支障木撤去を県に要望する場合、集落などで置場を提供することで早期実現につながるのでは。
答 洗沢川の支障木撤去や西通川のガツギ撤去の例から置場の提供は効果的であった。置場を提供したことで、経費が大幅に軽減され、施工箇所も増えると考ええる。



粉砕機によるヤナギ処理の実証試験

質問者の動画が見られます。



小学校統合に伴う 学校外の安全対策は



あかつか えいち
赤塚 英一
議員



開校準備委員会で協議

質問者の動画が見られます。



※ヤングケアラーの現状と対策は



まつなが ゆみ
松永 裕美
議員



早期発見、早期支援に努める

質問者の動画が見られます。



問 保護者が安心して学校に送り出し、子どもたちが安全に登下校できる環境にする具体的対応は。

答 通学路・スクールバス運行体制、見守り隊の検討など、学校外の安全・安心に関わる検討事項は、開校準備委員会で協議を行っている。

問 スクールバスの停留所は雨風を避けられる場所が無い所も見られる。安全対策は。

答 バス停留所は道路沿いの位置、土地の所有、形状により制約が多いが、通学路安全推進会議での協議を通じて登下校時の安全対策をしっかりと取っていく。



中藤崎神社前 バス停留所

問 放課後の子どもたちの居場所など、早期に結論を出すべきでは。

答 スタッフ、保護者、健康福祉課、教育課で「児童の放課後の居場所づくり検討会」を立ち上げ、小学校統合後も利用に支障がないよう検討している。年度内に方向性を決定する。

これも質問 地域医療の維持、発展への対応は。

答 人口減少に伴う患者数の減少により、医療機関の財政が厳しい。地域医療の安定を図るため、支援を検討したい。

問 ヤングケアラーと言われている子どもたちの現状を、町はどの程度、把握しているのか。

答 ヤングケアラーと思われるケースは、町内では確認していない。

問 子どもたちが悩んだり困ったりした場合、どこに相談したら良いのか。

答 教職員などの身近な大人や国・県等の電話相談窓口などがある。教職員には早期発見できるように周知している。

問 総合的な対策は、どのように考えているのか。

答 福祉、介護、教育、医療などの関係機関が連携し、早期発見、早期支援に努めていくことが重要。ヤングケアラーに該当と

確認された場合は、子どもの権利侵害や家族の状況に関して調査を行い、必要な支援を行う。

※ヤングケアラー：大人が担うべき家事や家族の介護感情面のケアをしている18歳未満の子どものこと。

これも質問 現在の小学校校歌を役場電話の保留音として活用できないか。

答 校歌の発信のあり方の一つとして受け止めた

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が持つようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、勉強などのサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



(出典：一般社団法人 日本ケアラー連盟)



遊佐町定住促進計画 現状と今後は



ほんま ともひろ
本間 知広
議員



町長
定住希望者のニーズに
配慮した計画に

問 計画は平成29年度から第2次へ移行しており、令和3年度が最終年度となる。現状を踏まえて第3次計画はどのようなものになるのか。

答 社会情勢や移住希望者のニーズに配慮し、特に若者の定住促進、就労環境の充実、Uターンを含む移住希望者の定住促進を図る。

問 第2次計画時の人口の推移をどのようにとらえているか。

答 依然人口減少は続いているが、スピードは低下している。子育てや住宅施策が一定の効果を発揮したものと考えている。

問 「移住に関する問合せが増えている」ということだが、どのような要因が考えられるか。

答 コロナ感染拡大が落ち着き、相談や移住体験が増えた。また、空き家管理のための往来が困難となり、空き家の相談も増えている。

質問者の動画が見られます。



第3次計画に期待

ひきこもりへの支援は



さとう みつやす
佐藤 光保
議員



町長
相談会を実施

問 相談の実施状況は。

答 令和3年度、引きこもり相談会を10回予定している。一回あたり2〜3人、年間の実人数で約5人、これまで延べ人数で12〜17人が相談に来ている。

問 多機能福祉施設、若者相談支援拠点、家族会などの支援の体制は。

答 引きこもり相談会の相談員として、協力している。
問 オンライン交流の取り組みは。
答 実際に顔を合わせての相談は声や文字だけより相談しやすいと考えるので、他の自治体の状況を見ながら検討する。

質問者の動画が見られます。



これも質問
問 人工透析患者の通院に係る課題は。
答 通院が困難な透析患者への対応を今後検討する。

(令和3年度)

ひきこもり相談

ひきこもりに関する相談を行います。ご自身のことでも、ご家族のことでも構いません。ご本人の不安・焦り等について、また、ご家族との関わりを伺いながら対応方法などを一緒に考えます。お気軽にご相談ください。

◇開催日 年10回

1回目	令和3年 5月28日(金)	①9:30~ ②10:30~
2回目	# 6月25日(金)	①9:30~ ②10:30~
3回目	# 7月16日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
4回目	# 8月20日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
5回目	# 9月17日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
6回目	# 10月15日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
7回目	# 11月19日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
8回目	# 12月17日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
9回目	令和4年 2月18日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~
10回目	# 3月11日(金)	①13:30~ ②14:30~ ③15:30~

◇場所 遊佐町防災センター 1階
◇相談員 多機能福祉施設こもれび 佐藤深喜 氏
家族会支援員 秋葉富美子 氏
※事前に予約が必要になりますので、下記までご連絡ください。

秘密厳守
相談は無料です。

<お問合せ・申込み先>
遊佐町健康福祉課 健康支援係
(遊佐町防災センター内・遊佐町役場西隣)
TEL 72-4111
FAX 72-4113



空き校舎 利用と管理計画は



まさゆき
なす 那須 議員



町長
利活用が決まるまでは
町で管理

質問者の動画が見られます。



今回は50%プレミアム付商品券



さいとう やしお 齋藤 議員



町長
財源確保と費用対効果を
検討する

質問者の動画が見られます。



問 令和5年4月に小学校が統合。その後の空き校舎利用計画はできているのか。統合後は用途により所管が違うが所管が決まるまでの管理体制は。

答 現在、校舎利活用の基本方針を検討中。統合までに計画が完成しても統合直後は、暫定利用の可能性も高く現状の管理体制となる。統合までに関係課と調整していく。

問 スポーツ少年団や地域行事利用など、通年で管理を行う恒常的な計画と予算が必要では。

答 施設の目的により管理方法も異なるので今後検討する。

問 これも質問
遊佐ブランド推進協議会、コロナ禍の情報発信は。

答 新しい生活様式に対応するため、インターネットを活用した発信を行う。

問 PayPay支払い
はスマホを持たない高齢者に向かない。PayPayと紙のプレミアム付商品券を同時に発行すれば不公平はなくなる。

答 PayPayは町の中小事業者支援、紙のプレミアム付商品券は町民の生活支援と位置づけている。両方を同時に行えるかは、財源確保と事業効果の検討が必要である。

問 プレミアム率は財源の問題もあるが、消費拡大のため50%が望ましい。

答 高いプレミアム率は消費拡大につながると思われるが、換金額も比例して増大するため、財源確保が課題である。

問 これも質問
ゲーム時間管理表に記入して学力低下を防げる。

答 時間管理表の取り組みは効果的である。小中連携して自己管理能力の育成に取り組む。

問 グ라운드의芝生や環境整備、駐車場の除雪は誰がする。

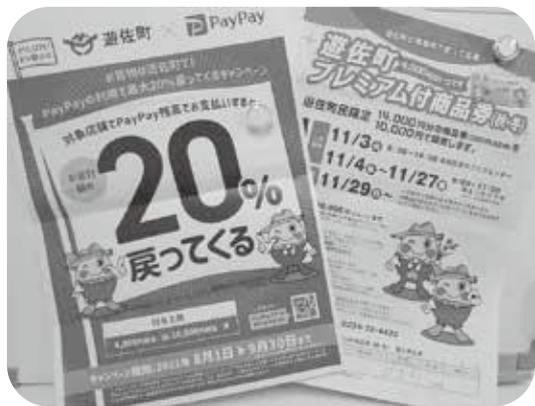
答 施設管理者で行うのが基本。芝生管理は、町有機械の活用も考えられる。除雪は、施設管理者の要請により町で対応。



管理を業者に委託
(鳥海パノラマパーク)

問 スマホを持たなくてもプレミアム付商品券を使うことができるシステムが大切である。

答 紙のプレミアム付商品券は印刷や換金に関して電子決済にはない労力と経費がかかるため、費用対効果を検討する。



消費の切り札 プレミアム率50%に



「ユネスコ世界ジオパーク」を 目指す意義は



たかはし かんじ
高橋 議員



地域課題の解決に結びつける

質問者の動画が見られます。



問 「鳥海山・飛島ジオパーク」は令和3年2月に再認定された。これを機に世界ジオパーク認定を目指す」と公表したが、その意義は。

答 故郷の美しい景色と、人々の暮らしや文化を、次世代に引き継ぐこと。また、地域資源を教育や観光に活用するとともに、認定商品による地域経済の活性化など地域課題の解決にもつなげたい。

問 組織の法人化、専門委員の増員、国際的な論文執筆、地元への周知などが必要。課題の対処は。

答 法人化、研究員の配置は推進協議会で。町では、学校でのプログラム、出前講座、広報などで町民への周知を図っていく。



活躍するジオガイド

問 世界ジオパークの認定を得るにはハードルが高いと考える。3市1町に温度差はないのか。

答 4首長で構成する役員会において確認している。ハードルは高いが最短のスケジュールを想定し取り組んでいく。

補正予算審査

一般質問

政策提言

請願審査

懇談会報告

遊佐 人

看護師奨学金貸付等の現状は



さとうしゅんたろう
佐藤 議員



5人の看護師が町内で活躍

質問者の動画が見られます。



問 奨学金は、看護師等の確保に資する。平成31年以降の申請状況と町内での就業状況は。

答 申請状況は、平成31年は1人、令和2年が3人、令和3年が2人で、これまで15人が利用し、5人が町内の医療機関等で業務に従事している。

問 町民のためには、更に医師の確保が必要と思う。奨学金制度等新設の考えは。

答 県でも医師の奨学金制度を実施している。そのため、町独自の実施は考えていない。

問 医師不足解消の具体的な対策は。

答 県が医師確保対策の主体的役割を担っている。引き続き関係機関と連携して医師確保に取り組むたい。



(出典：厚生労働省ホームページ)



洋上風力発電

町は説明不足



あべみつよし
阿部 議員



町長
県・事業者に引き続き
説明を求める

質問者の動画が
見られます。



洋上風力発電事業

町長は行動すべき



たけし
藤 議員



町長
町民の疑問・不安解消に行動

質問者の動画が
見られます。



遊佐町議会だより

問 遊佐沖が洋上風力発電の「有望区域」になったが、町民への周知が足りず良否の判断もできない。県の説明会で、町民の声を受けてどう考えるのか。

答 町の求めによる山形県の説明会を平成30年から毎年開催している。今後も、あらゆる機会で町民の疑問、不安が解消されるよう、説明会の開催等を求めていく。

問 フォトモンタージュは実際の完成形とはかけ離れているのでは。

答 山形県から暫定的に作成してもらったもの。今後は、事業者から配置計画に基づいたものが示される。



「ゼロカーボン」わかるけど

問 自然に負担の少ない工法も開発されている。遊佐独自の提案を。

答 県の説明資料によれば建設工事の着手まで、7年くらいとなっている。工法は日進月歩。関心をもって注視していきたい。

問 3年11月の説明会では多くの疑問や不安が参加者から示された。町長はそれらに真摯に応え、あらゆる場面で県や事業者に声を伝えるべきだ。

答 説明会では、慎重な意見等多くいただいた。県や事業者には、今後も、あらゆる機会で町民の疑問、不安が解消されるよう、声を届けていきたい。

問 法定協議会で町民の声が確実に伝わるか不明。議論が引き返せるうちに町長は行動すべきだ。

答 法定協議会では、町民の疑問、不安を解消する手立てを協議していく。

問 風車建設後の海の姿は今から共有する必要がある。町広報の果たすべき役割は大きい。

答 今後、事業者が行う環境アセスメント手続きの中で提示される、実際の事業計画に基づくイメージ写真を広報していく。



ここから見たフォトモンタージュも
(藤井集落)

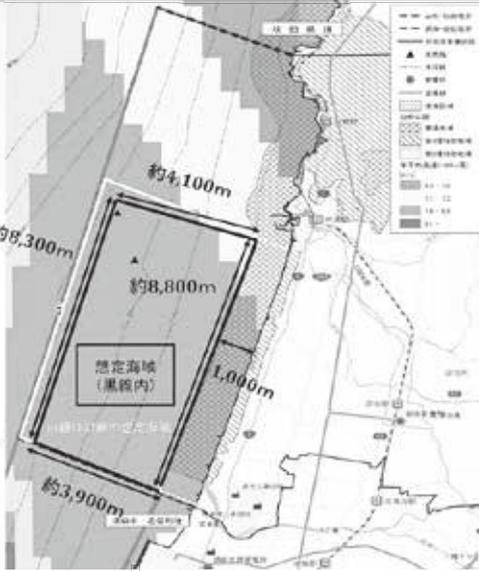
の実現をめざし

事業イメージ
(1) 想定海域

「研究・検討会議」及び「部会」において想定海域を設定

(基本的な考え方)

- 北は旧村境から南は遊佐町・酒田市境までの地先沿岸における共同漁業権の区域(海共第2号)内
- 大半が鳥海国定公園の区域に含まれる離岸距離1kmの範囲を除く



提言3 洋上風力発電

地域の合意を得る 事業にする ための提言

- 町として、より明確な姿勢を国や県、事業希望者に示し、地域の合意を得られるような事業計画に

提言4 農地の維持と後継者

持続可能な農業を **めざす** ための提言

- 中山間地や砂丘地の農地の荒廃と衰退を止めるべく思い切った施策が必要
- 施策は、効果が出るまで時間がかかることから直ちに具体的な検討を



提言5 暮らし・情報デジタル化

デジタル **推進** のための提言

- 防災、暮らし情報など町民に直接的に関連する情報を迅速に、かつ詳細に提供されるよう「LINE」などの積極的な活用を



補正予算審査

一般質問

政策提言

請願審査

懇談会報告

遊佐人

よりよい暮らし

補正予算審査

一般質問

政策提言

定例会臨時会議内容

懇談会報告

遊佐人



町長に政策提言を提出

町民主役による自治を実現するための「遊佐町議会基本条例」に基づき、令和2年12月に提出した政策提言を検証、また町民と議会の懇談会での意見も反映させた政策提言とした。



詳細はこちらから

提言 1 小学校統合

新たな教育環境を創る ための提言

- 多岐にわたる課題に対し、円滑な統合へ向けての協議を最後まで丁寧に
- 児童の登下校時の安全対策を万全に



提言 2 空き校舎の利活用

空き校舎を活かすための提言

- 施設利用計画は財政を含めて直ちに地域との協議を
- まちづくりセンターとして利用するにあたっては、グラウンドなどの管理に係る予算の恒常的な確保を

請願審査 賛成少数で否決

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める請願

《請願者》戦没者遺骨の尊厳を考える市民の会 代表 佐々木俊司

- 請願の要旨**
- 1, 沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混入した土砂を埋立てに使用しないこと
 - 2, 日本政府は遺骨を収集し、遺族の元に返すこと。

審査を付託された総務厚生常任委員会の審査意見は「不採択」

- その理由は、1, 採取した土砂の埋立て場所と利用用途の具体的な記載がないこと。
2, 請願項目が件名と離れており、文章の内容が一致しないこと。
3, 請願提出先が不適切であること。

委員会報告「不採択」に対し、2名の反対討論があった。(議員ごとの賛否は15ページ)

齋藤 武 議員 死者との向き合い方が問われている

この請願は、世俗的なこと以上に、今を生きる我々が、死者とどのように向き合うのかを問うている。虚心坦懐に沖縄の苦悩に少しでも思いを寄せることが、最終的には国益にかなうことにもなるのではないか。

佐藤 光保 議員 戦没者の遺骨の尊厳は尊重されるべき

死者にも人権があり、戦没者の遺骨の尊厳は尊重されなければならない。戦没者も家族の元に還される権利があり、手厚く^{とむら}申われる権利を持っている。

議会活動をもっと知ってもらいたい



議会ホームページQRコード

議員はどんなことを質問してるのかな？
仕事や家のことで議会を見に行きたいけれど行けない・・・



そうだ!!

議会録画をしてみよう

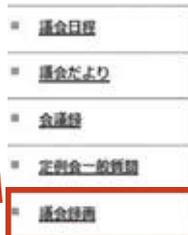
遊佐町ホームページ

①遊佐町の「町議会」ホームページのここをクリック



遊佐町議会 トップページ

②議会トップページのここをクリック



議会録画2018

議会録画をご覧いただくにあたって
平成29年4月議会より新しい仕組みの配信となります
平成30年6月議会以降の 録画中は **こちら** からご覧ください
平成30年3月議会以前の 録画は **こちら** からご覧ください

③ここをクリック

④最後に、会議名でさがすか議員名でさがすか選んでね！
これで、いつでも、どこでもスマホでもパソコンでも見られるね！

★本会議の映像の配信は、会議後、一週間程度でご覧いただけます。



補正予算審査

一般質問

政策提言

請願審査

懇談会報告

遊佐人

12月定例会の議案内容（一般会計補正予算、他15件〈発議4件含む〉）

議案番号	議案名	内容
議84～87号	令和3年度一般会計補正予算（第6号）、国民健康保険特別会計（第2号）、公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）、地域集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	PAT整備のための道路用地取得費3200万円、松くい虫防除委託料2100万円など1億3600万円を追加し、一般会計総額102億3100万円に P4～5に審議内容を掲載
議88号	遊佐町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	開館時間及び休館日を改正するもの 4月1日から開館時間を9時～18時、休館日を火曜日に
議89号	遊佐町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	トレーニングルームの年会費を改正するもの 4月1日から2,000円→3,000円
議90号	遊佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	小規模保育事業所の事務手続きの効率化を進めるための改正
議91号	遊佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	認定子ども園等の事務手続きの効率化を進めるための改正
議92号	遊佐町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	産科医療補償制度の掛金額を見直すもの
議93号	橋梁長寿命化修繕計画事業広畑橋上部工事に係る請負契約の一部変更	広畑橋上部工工事費を1億7160万円から1億8418万700円に増額するもの
議94号	町道路線の認定	道の駅建設に伴い連絡道路を町道として認定するもの
請願4号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める請願	P14に審査内容を掲載
発議13号	遊佐町沖洋上風力発電事業計画に係る調査等特別委員会の設置	P2～3に内容を掲載
発議14号	遊佐町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	欠席事由（これまで本会議等に出席できない理由を一括して「事故」と表記していたのを「公務、疾病、出産、育児、配偶者の出産補助、その他やむを得ない事由」へ）の明文化及び請願書の押印規定の見直しを行うもの ※この改正は地方議会議員のなり手不足が指摘される中、女性をはじめ多様な層の人材が、より議会に参画しやすくするための環境整備を図るもの
発議15号	まちづくり政策提言の提出	P12～13に提言を掲載
発議16号	議員派遣	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・連絡協議会 文教産建常任委員会管外視察に派遣

<傍聴者 のべ22人>

採決状況

賛否が分かれた議案 ○賛成 ×反対 議長(土門治明)は採決に加わらない

上程議案		本間 知広	那須 正幸	佐藤 俊太郎	佐藤 光保	齋藤 武	松永 裕美	菅原 和幸	赤塚 英一	阿部 満吉	高橋 冠治	斎藤 弥志夫	土門 治明	議決結果 (賛成:反対)
請願4号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	—	否決 (2:9)
議88号	遊佐町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決 (10:1)

11月臨時会 [11月30日] の議案内容 (条例案件2件)

議案番号	議案名	内容
議82号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	令和3年度12月期末手当一般職の支給月数を100分の127.5から117.5に引き下げ 再任用職員は100分の70から65に引き下げなど
議83号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	令和3年度12月期末手当特別職・議会議員の支給月数を100分の153.75から148.78に引き下げなど

2議案 全員賛成で可決

<傍聴者 1人>

町民と議会の懇談会



11月21日

● 蕨岡まちづくりセンター

● 西遊佐まちづくりセンター

● 吹浦防災センター
において開催



報告書QRコード

3会場で合計60人の参加をいただきました。

※詳しくは議会HPまたは各まちづくりセンターと図書館に資料があります。

小学校統合と 空き校舎の利用

問 統合後、小学生の登下校スクールバスの運行はどうなるのか。

答 統合に向けて、バスの台数を増やしており、登下校に支障がないように準備しています。

問 総合福祉センターは、離れた旧校舎ではなく、役場近くに置くべきではないか。

答 町では総合的に判断しなくてはならない、と考えています。具体的に何も決まっていないようです。

問 統合により、バス通学となるが屋根付きの停留所の要望がある。

答 ※後日回答
【教育課：統合後のスクールバス運行計画を検討中】

【ですが、バス停予定地の事情もご理解願います。】

問 高瀬地区独自の相撲大会等行事が、統合後も実施できるか心配。

答 統合後、教育後援会などで対応できる行事の検討を早期に実施すべきでは。

答 ※後日回答
【教育課：教育課程における残すべき地域行事等を、地区まちづくり協議会等と連携して整理しています。】

問 旧校舎建物の管理所在があいまい。グラウンドは誰が管理するのか。たとえ空き校舎にまちづくりセンターが入っても、グラウンドの管理は誰がするのか明確にしたい。

答 要望を町に伝えます。



問 吹浦小学校で実施中の「放課後子ども教室」の引き続き実施したい。現在は、教職員の協力が得られるが、空き校舎になった場合、建物管理や子どもたちの急な体調不良等への対応を心配している。

答 ※後日回答

【教育課：児童の放課後の居場所づくり検討会を立ち上げて、運営のあり方を検討中です。】

問 統合により、給食関係等従事者の雇用は確保されるのか。

答 ※後日回答

【教育課：保育調理業務との調整も図りながら、業務に見合う適正な雇用を検討していきます。】

問 空き校舎に何らかの団体などが入るとしても、できるだけ費用をかけないで有効活用してもらいたい。

答 まちづくりセンターの小学校校舎への移転費用は、町が出さなければなりません。まちづくり

センターが移転するかどうかは、町が今年度中に決める方向と聞いています。他地区と整合性をもつて進めるべきと考えます。

意見 吹浦小学校は、高台にある立地条件から「避難所」「総合福祉施設」として活用できないか。空き校舎の活用タイムスケジュールを早期に作成してほしい。

問 民間グループに、営利的での使用もできるようにしてほしい。

答 ※後日回答
【企画課：空き校舎の利用は使用目的により、補助金の返還や起債の償還が必要な場合があり、検討を要します。】

意見 高瀬小学校は、まちづくりセンターで使用したいが、周辺環境整備等、管理費の予算措置を要望する。

意見 四大祭と小学校との関わりについて、統合後は四大祭と子どもとの関わりを中学校へ移してはどうか。



洋上風力発電事業



答 大きい枠の中でエネルギー問題を考えれば洋上風力発電は必要だと一定の理解はしています。小中高生には電力を含めたエネルギー問題について、より勉強をして意見を出してもらえればと思います。

答 発電事業が実際に稼働して「ゼロカーボン」の目標を達成する手段となるのか、30年後撤去された後の環境がどうなっ

いるかなど疑問であり、答えを出すのが大変難しい問題です。ただ、温暖化をどう防いでいくかは解決が急がれます。

答 もっと意見を聞いた方がよいと思います。たくさん意見が出る中から進むべき方向が見えてくるのではないのでしょうか。そのうえで納得できる計画なのか考えていきたいと思ひます。

問 風車を何十基も建てて、どのような影響が出るかわからない。知らない人がたくさんいる。もっと住民説明会の回数を増やし、たくさんの方の意見を聞くべきと思う。特にこれから担う世代の意見を聞くべきと思うが、各議員の考えは。

答 議会では「自然環境」「景観」「健康」に留意した事業計画に、という意見書を県に提出しています。今後は幅広く町民の意見を聞き、議会として取りまとめをしていきたいと考えています。



問 洋上風力の説明会の回数を増やし、たくさん
の意見を聞いて事業を進
めてもらいたい。

答 説明会は3年前から
行っていますが、当時は
関心が薄かったようです。
今は徐々に関心が高まっ
ており、引き続き説明会
の開催を町から県に要望
してもらいたいと考えま
す。

要望 どのような景観に
なるのかわかりやすくす
るために、もつと色々な
場所からのフォトモンタ
ージュを作成し、地域住
民から理解を得られるよ
うにして事業を進めてほ
しい。

問 共同乾燥施設等のモ
ミガラ処理について、何
かい考えはないか。

答 妙案はありません。
ペレット状にして、バイ
オマス発電所で燃料とし
て活用できないか話をし
ましたが、現状的に難し
いようです。

要望 共同開発米の担い
手が少なくなり、生活ク
ラブ生協への出荷量が減
少傾向である。減らない
よう手立てをしてもらい
たい。

農地の維持と後継者

問 米価下落に対する補
助対象に「共同開発米」も
ぜひ加えてほしい。

答 補助対象を決める際
に米価を基準にしないで、
という意見がありました。
その旨町に伝え、どのよ
うな対策がとれるかを検
討します。

くらし・情報のデジタル化

問 マイナンバーカード
の理解はできるが、高齢
者はデジタル化にどうし
てもついていけない。町
民に寄り添った丁寧な説
明をしていただきたい。

答 マイナンバーカード
の普及・申請は、地区文化
祭等に出向き受け付けた
経過もあります。
デジタル化の応用は、
意見をいただきながら改
良を重ね、時間を要する
ことを理解いただきたい
と思います。

意見 スマートフォンで
見る町のホームページは
見づらい。スマートフォン
用のページを作るよう、
議員からも働きかけを。

その他 全般

問 新庁舎の入り口階段
の境目が見えづらかった。
これまでも駅や防災セン
ターなどでも不具合があ
ったが、改修するとなら
ず、かなりの予算を使う
場面があった。もつとし
っかりチェックするべき
では。

答 議会としても、今後
このようなことがないよ
う気をつけていきたいと
考えます。

問 新庁舎では通路から
中に入れず、係の人を呼
ぶのが大変不便である。

答 個人情報保護の観点
から執務スペースに入れ
なくなりました。ご理解
いただきたいと思います。

答 定数の変更は、平成
27年に2名減、報酬は平
成31年に改正しています。
今後しばらくは改正はな
いようです。皆様との意
見交換の場を多く持つこ
とも、活性化につながる
と思っています。



シリーズ
遊佐人 8
Yuzajin

美童里のさと

高瀬小学校

令和5年に町内5小学校は統合し、新生遊佐小学校としてスタートします。地区の核となってきた小学校。それぞれ個性があり伝え残したいことを取材していきます。第2回目は、高瀬小学校にお話しを伺いました。

高瀬小は
どんな学校ですか

庄内平野の北部に位置し、西に庄内砂丘を隔てて日本海に接し、北東から東にかけて鳥海山の裾野が雄大に広がっています。

先人には、初代鉄道助である佐藤政養公や天保義民事件で三方領知替え阻止に尽力した佐藤藤佐公など、日本の歴史に大きな足跡を遺した偉人がいます。本校は、明治7年「常恩学校」として創設され



平成17年12月完成の現校舎



代表委員会 いつも議論は活発です

147年の歴史があります。地域の方々の教育への関心が高く、PTA活動はもとより、同窓会、教育後援会、体育振興会などの組織も充実しており、地域ぐるみで学校に協力していただいています。

特徴的な学習を教えてください

総合的な学習の時間や生活科を中心とした地域学習です。2年度の6年生は「高瀬八景」を中心とした高瀬地区の様子を動画にまとめ、ユーチューブにアップロードするなど、充実した地域学習を行っています。今年も、たくさん地域の先生をお迎えして、高瀬地区の自然や伝統文化への理解を深めています。また、3年度から「カリキュラムマネジメント」



高瀬八景「中山 桜」



高瀬八景「丸子 観音様の森」

に取り組んでいます。教職員みんなで話し合い、子どもたちにつけたい力を明確にして、カリキュラムに反映するという取り組みです。3年度は「対話する力」の育成に重点



学習発表会での熱演

的に取り組んでいます。授業時間のみならず、各種行事やプロジェクト活動（児童会活動）でも、子どもたちが対話する時間や場面を大事にしています。人は、人の中で育ちます。たくさんの人との対話の中で自分の考えを深め、大きく育ってほしいと願っています。

最後に一言お願いします

新校遊佐小学校開校に向けて、たくさん学友だちができて、楽しく学べるように力を尽くしていきたいと思えます。



表紙の写真
無火災祈って「火の用心」

正月恒例の消防出初式。「すぎのこPTA幼年消防団」。小学生の兄弟を交えた75人が無火災を願って行進だ。
 早朝からの雨と雷もこの時はおさまり、コロナ禍の収束も願いたい。専門家によれば、感染症は3年ほどで終わりに向かうらしい。令和4年は良い年になってほしい。

議会を傍聴してみませんか
3月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。
 3月定例会は、本会議と補正予算・予算審査特別委員会が議場で行われます。
 ぜひ一度、傍聴してみませんか？

3月定例会の予定

- 3月3日(木) 本会議・常任委員会
- 3月4日(金) 補正予算審査特別委員会
施政方針
- 3月7日(月) 一般質問
- 3月8日(火) 一般質問・予算上程
- 3月9日(水) 常任委員会
- 3月10日(木) 常任委員会
- 3月14日(月) 予算審査特別委員会
- 3月15日(火) 予算審査特別委員会
本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ



令和3年11月1日154号の議会クイズには41名の方の応募があり、32名の方が正解でした。
 抽選の結果、次の10名の方が当選し、米くちゃんスタンプカードお買い物券1000円分をお届けします。

答え ①B ②A ③B (敬称略)

- 三ツ橋 かおる(吹浦)
- 今野 みどり(蕨岡)
- 佐々木 正博(高瀬)
- 渋谷 智恵子(遊佐)
- 石倉 正樹(稲川)
- 伊藤 節子(西遊佐)
- 畠中 憲子(吹浦)
- 石山 文子(稲川)
- 小野寺 正子(蕨岡)
- 真垣 ハツ代(遊佐)

問題 ①既に倉庫に配備されている使い捨てトイレの数は。

- A 3200個
- B 4200個
- C 5200個

②月光川水害予防組合は

何年の歴史を持つのか。

- A 140年
- B 150年
- C 160年

③高瀬小学校が常恩学校として創設されたのはいつか。

- A 明治7年
- B 大正7年
- C 昭和7年

応募方法

ハガキに答えの記号(例①A ②B ③C)それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

正解者の中から10名様に、米くちゃんスタンプカードお買い物券1000円分をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報はこの議会クイズ以外の目的には使用しません。町広報に折込みのハガキは使えません。

ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

宛先/999-8301
 遊佐町遊佐字舞鶴202
 役場内 議会事務局
 締め切り2月25日
 発表は次号です。

編集室より

定礎銘板の中には

11月10日、解体にあたった担当者から1枚の写真がとどいた。定礎銘板の内側には何も埋め込まれていなかったとの報告。楽しみにしていたが期待がはずれた。

とはいえ、解体が進むにしたがって現れてきた鉄の骨組みは60年前の建築とは思えぬほどに頑丈な造りだ。町の将来を想う先人の心意気が伝わってくる。



令和の私たちはどんな想いを込められるだろうか。
 新庁舎は、町の将来を想う拠点なのだ。
 阿部 満吉

発行者
 議長 土門 治明
議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 佐藤俊太郎
- 委員 齋藤弥志夫
- 委員 齋藤 武
- 委員 那須 正幸
- 委員 本間 知広